

製品の原材料・部品の調達から販売に至るまでの一連の流れを指す用語。

店員が商品のバーコードの読み取りなどにより金額の登録を行い、利用客が専用の精算機で支払いのみを行うシステム。また、商品の読み取りから支払いまでの全てを利用客自身が行うフルセルフレジもある。



かどくら くによし
角倉 邦良（超党派の会）
障がい者個別避難計画等
高崎市城南球場の改修



質問 災害時における障がい者の個別避難計画の作成について、今後どのような手順で進めていくのか。

答弁 町内会には個別避難計画の意義や作成手順の周知を働きかけ、また、障がい者の方々には御本人の状況や障害によるリスク内容に関わっている福祉専門職などと共有し、計画作成につなげていきたいと考えている。

質問 高崎市城南球場は、三塁側ネットに穴があき国道17号を走行中の車両が大変危険であるため改修が必要であるが、今後の予定は。

答弁 ボールが球場の外に飛び出さないよう囲っている防球ネットの補修工事を6月末に行う予定である。また、審判員室付近の天井部から漏水があるため、この部屋の上部にあたる観客席の防水工事を行うが、工期が1カ月程度かかるためシーズンオフに実施したい。



ときた ひろゆき
時田 裕之（新風会）
市窓口のキャッシュレス化
観音山公園のケルナー広場



質問 日常生活でキャッシュレス決済が進む中、本市の現状は。

答弁 本市では市税や上下水道使用料金は、納付書に記載されたQRコード等をスマートフォンで読み取り、一般的なバーコード決済で支払うことができる。一方、住民票など窓口発行の証明書等の手数料は、現金のみの取り扱いだが、窓口DX事業の一環で、令和8年度中に書かない窓口を導入し、市民課にキャッシュレス決済対応の**セミセルフレジ**を設置する予定である。

質問 ケルナー広場は開園して10年がたち、遊具が経年劣化してきているようだが、今後の改修および拡張の予定は。

答弁 日常的な保守点検や必要に応じた修繕を随時行い、安全な利用環境の維持、保全に努めている。将来的な広場の拡張は、市民の意見や利用者数の推移を踏まえながら、研究していく。



みつい のぶひで
三井 暢秀（市民クラブ）
物価高騰の現状と市内経済への影響
豊岡だるま駅



質問 物価高騰対応重点支援地方交付金の活用方針と交付時期の遅れの影響は。

答弁 予算編成における選択と集中の理念に基づき、市民生活や市内経済の維持や活性化に大きな役割を果たすことが見込まれる重点事業へ優先的に財源を配分する方針である。また、本交付金の有無にかかわらず、本市独自の物価高騰対策を進め、国の交付時期による本市施策への影響を最小限に抑えていく。

質問 おとしよりぐるりんタクシーの豊岡だるま駅への配備について、必要性やルート、スケジュール等の市の考えは。

答弁 駅の周辺地域は道幅が狭く、小回りが利くタクシーは、駅の利便性の向上と地域住民の移動手段の確保に有効な手段と考える。駅を基点に地域内のスーパーマーケット等を回るルートにし、新駅開業に間に合うよう進めていく。



しんぼ かつよし
新保 克佳（公明党）
災害への備え



質問 群馬県地震被害想定調査の内容と本市における災害発生メカニズムや状況などの被害想定結果はどのようなものか。

答弁 県内で一定規模以上の地震が起こった際の被害想定を算出するための調査で、深谷断層帯・綾瀬川断層で地震が発生した場合、本市でも震度7の揺れが想定され、被害は最大で全壊の建物が3万2,689棟、半壊3万2,320棟、火災での焼失棟数1万2,124棟などとなっている。

質問 災害関連死の原因の多くを占める誤嚥性肺炎の予防対策に口腔ケアが重要であるが、口腔ケア用品を災害備蓄品とすることへの考えは。

答弁 口腔ケア用品等の衛生用品の備蓄には、衛生的な保管環境の確保や入れ替えの期限管理の課題があるため、ドラッグストアとの災害時応援協定において、**ローリングストック**で備蓄している物資の中に組み込むことを協議したい。

日常的に使う食品や日用品を少し多めに買い置きし、使った分だけ新しく買い足すことで、常に一定量を備蓄しておく方法。本市ではドラッグストアと協定を結び、普段はドラッグストアの商品として備蓄倉庫に保管されている物品を、災害発生時には市が後日費用を支払うことで利用できる体制を整えている。これにより、定期的に物品を入れ替えることができる効率的な備蓄体制を実現している。

夏の暑い日にエアコンの電気使用量を抑えるため、公共施設やショッピングモールなど涼しく過ごせる場所に集まって涼しさを共有するスポットで、省エネや熱中症予防を目的としているもの。



ごとう あきら
後藤 彰（新風会）
熱中症・紫外線対策



質問 小・中学校における紫外線対策でのサングラスの活用について本市の考えは。

答弁 紫外線の過剰な浴び過ぎは、長期的な健康への影響を及ぼす可能性があるとの認識している。サングラスの活用は、健康上の理由や必要性に応じて個別に、かつ柔軟に対応している学校もある。今後も県内外の事例や学校現場の実態を踏まえ、紫外線対策について研究していく。

質問 高齢者の熱中症対策について、本市における注意喚起の方法や見守り体制は。

答弁 高齢者あんしんセンターを中心に、適切なエアコンの使用や小まめな水分補給を呼びかけるなど、熱中症予防行動を周知している。また、あんしん見守りシステムを設置している高齢者には、緊急時に緊急通報装置から通報すると、オペレーターが119番通報を行う等、見守り体制の整備や強化に取り組んでいる。



おの さとこ
小野 聡子（公明党）
猛暑から市民の命と健康を
守る取り組み



質問 猛暑から命を守るため、高齢者や生活困窮世帯などが経済的な事情により、エアコンの設置や使用を含む必要な暑さ対策をためらうことのないようにするべきだが、市の対応状況は。

答弁 高齢世帯に対し、高齢者あんしんセンターを中心に、熱中症予防の周知や職員が訪問時に生活に即した助言等を行っている。また、生活保護世帯では、ケースワーカーが家庭訪問時に家計や健康管理について声かけをしている。

質問 高齢者等の外出機会や交流につながる**クールシェアスポット**の周知と設置状況は。

答弁 登録施設の情報は県ホームページやSNS等で周知されている。市内では民間施設を含め102カ所が登録され、市有施設は本庁や各支所、公民館等67カ所が対象となっている。令和8年度は市立公民館45館全てを登録し、涼むことができる休憩所として開放する。



みしま くみこ
三島 久美子（たかさき未来）
堤ヶ岡飛行場跡地開発と農業政策
小学校の早朝7時開門



質問 市長は堤ヶ岡飛行場跡地開発構想を推進するため、令和5年11月にアメリカのシリコンバレーを訪問し、令和8年3月に2度目の訪米でシリコンビーチを視察したが、その成果は。

答弁 このたびの訪米による成果は、堤ヶ岡飛行場跡地の活用に向け、必要な情報収集だけにとどまらず、新たな人脈づくりも行えたことから、開発に向けた素地の形成が前進したものと捉えている。今後もこの成果を本事業に反映し、粛々と事業の推進に努めていく。

質問 小学校の早朝7時開門を朝の子どもの居場所づくりの一部として捉え、制度設計を再構築する必要があると考えるが、今後の考えは。

答弁 全国的にも事業を実施する自治体は少なく、事業実施が困難な状況である現段階では、福祉部門を中心とした行政主導で新たな小学生の朝の居場所づくり事業を実施する予定はない。



みやはらだ あやか
宮原田 綾香（たかさき未来）
倉渕ダム建設計画
算数セット等の教材の学校備品化



質問 倉渕ダムは利根川水系や高崎市の治水対策に対して、効果が限定的と推測する。また、倉渕ダム建設中止以降、群馬県によって河川整備が進められてきたが、JR信越線上流付近の堤防の整備状況および氾濫低減への効果は。

答弁 県による烏川圏域河川整備計画に基づくJR信越線上流付近の堤防整備は、令和3年度に完了し、河道の流下能力が向上し、洪水時の氾濫リスク低減が図られていると聞いている。

質問 算数セットを学校備品として導入している学校は何校あるか。また、備品化への方針は。

答弁 市内小学校58校のうち、算数セットの全てを学校備品としている学校は2校、使用頻度の高い計算カードやブロック等を各家庭が購入し、使用頻度の低いものを備品としている学校は31校である。今後も、どのような教材を学校備品とするのが適切か、研究を続けていきたい。